

花便り2020春

2020年3月16日

コロナ騒動は鎮静化どころか、欧米での爆発的な流行が始まり、全世界を混乱の渦に飲み込もうとしています。

こんな混沌とした世情の中でも季節は確実に進んでおり、例年より早く桜の開花のニュースがチラホラと見聞きするようになりました。

そこで今日は、新聞で紹介されたりして、皆様からお問い合わせをいただいている花の名所の様子をレポートします。



上粕屋の洞昌院本堂前の枝垂桜の花が咲き始めました。

こちらは文武両道の鑑と言われる、悲運の武将「太田道灌」が終焉を迎えた地であり、その墓所もあります。

桜は花を付けないとその存在に気づき難いと言われますが、小生もこんな立派な桜があるのを認知したのは初めてです。



枝垂桜は、陽が良く当たる上部ではなく、垂れ下がった下部の方から開花を始めるようです。

花は太田道灌には直接関係ありませんが、何か因果を感じさせる不思議な佇まいです。

今週末のお彼岸には満開となり、墓参の皆様を楽しませる事でしょう。



大山バイパス沿いにやって来ました。

一昨日の季節外れの雪で白く輝く大山と満開の盛りを過ぎ、紅い花びらが歩道に舞うおかめ桜のコントラストが鮮やかです。

ここから遠望出来る「上大山桜」はまだまだこれからのようです。



例年の読売新聞に加え、今年は朝日新聞でも紹介された伊勢原の新名所、丸山城址公園のアーモンドの花が満開となりました。

二大新聞の掲載により協会にもお問い合わせを沢山いただき、連日大勢の皆様が珍しい花を満喫されています。



この花は、伊勢原市の新しい名物にしようと、6年前に市内の龍屋物産の多田社長のから寄贈されたものです。

大変残念なことに多田社長は昨年秋に急逝されましたが、その遺志を継ぐように今年も桜に似た綺麗な花が咲き誇っています。



丸山城址公園の芝生が行き詰められた中央広場です。
東海大学病院越しに大山山頂が望め、雪柳の傍らのママさんたちのグループを始め、園内のあちこちでお弁当を拡げていました。
季節の花が楽しめ、チョットしたお出かけに最適な公園へ是非お出かけ下さい。

当協会のホームページや Instagram、Facebook などで開花情報をチェックをしてください。